



## なごみ苑まつり開催

10月21日(土)、秋の恒例行事『なごみ苑まつり』を開催しました。

午前中は、苑内の各フロアでさまざまな展示や催し物が開かれました。中でもカラオケ喫茶やお抹茶コーナー、記念撮影会などの体験ブースでは、利用者の皆さんやご家族が参加されてとても楽しんでおられました。



【カラオケ喫茶】

お昼は、炊き込みご飯やお刺身、彩り豊かな食材が並んだ『紅葉弁当』でした。

美味しい食事に皆さん「んまいね〜！」と舌鼓を打っておられました。



【3階南の演劇「水戸黄門」】

そして午後からはリハビリ室で3階の利用者の皆さんによる出し物が行われました。

始めに3階南棟の演劇『水戸黄門』が披露され、出演者の皆さんの名役者振りに笑いあいの楽しい劇となりました。

3階東棟はマジックショーをされました。瞬間移動マジックや剣刺しマジックなどを披露され、会場からも「お〜！」とこりやすごい！といった驚きの声がたくさん聞かれました。

最後に、行事委員会によるスコップ三味線の演奏がありました。息のあったバチさばきに皆さん聞きほれておられました。

尚、今年もたくさんボランティアの方々にご協力を頂き、ありがとうございました。



【スコップ三味線 演奏】



【3階東 マジックショー】

## 鍋まつり

10月25日(水)、昨年に引き続き『鍋まつり』を行いました。具材となる野菜は利用者の方々によって切ったいただき、長年台所に立ってこられた腕を振るっておられました。



外では大鍋が準備され、あいくの曇り空でしたが、各フロアからたくさんの方が食べに来られました。野菜たっぷり食べ応え抜群の鍋に「か、うまいね〜」「おかわりちゃんないがけ？」と絶賛の声が多く聞かれ、気付けば鍋も空っぽ。お腹も体もポカポカになりました。



## 第2回「知って支える 認知症講座」開く

11月8日(水)、今回は曲淵公民館に行ってきました。

- ① 長谷川式簡易知能評価スケールの体験
- ② 寸劇「おじいちゃんの財布が無くなった」
- ③ 認知症予防の脳トレ

長谷川式スケールでは、皆さん真剣に取り組み、満点の方が続出でした。

寸劇では、楽しく認知症の方への対応について知ってもらうことができました。

脳トレでは目と耳を働かせて質問に答えてもらいました。これからも皆さんの地区におじゃまし、認知症講座を開いていきたいと思えます。



## なごみ学級

11月15日(水)、前施設長中島裕喜先生を講師としてお迎えし、国語の授業をしていただきました。

「漢字の成り立ち」についてのお話で、【安】という字を分けると(宀と女)。

「ウ」は「家の屋根・家屋」を表し、「女」は「両手をしなやかに重ねひざまづく女性」の象形です。

これを合わせて、家の中で女性が「やすらぐ」「やすらか」を意味する「安」という漢字になったそうです。



なるほど！と改めて漢字には色々な意味がある事に気付きました。とてもためになる授業でした。



## ★ 入退所報告 (10月)

### 【入所】

自宅より... 5名  
病院より... 5名

計10名

### 【退所】

自宅へ... 13名  
病院へ... 7名

計20名

《在宅への復帰率》

65.8%

《ベッド回転率》

11.2%